



# リリースノート Cisco Secure Email Encryption Service 10.0

---

発行日：2024 年 10 月 19 日

改訂日：2025 年 9 月 23 日

## 目次

- [このリリースの最新情報 \(2 ページ\)](#)
- [動作における変更 \(4 ページ\)](#)
- [サポートされるオペレーティングシステムと認証局 \(7 ページ\)](#)
- [既知および修正済みの問題 \(7 ページ\)](#)
- [関連資料 \(10 ページ\)](#)
- [サービスとサポート \(11 ページ\)](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート \(12 ページ\)](#)



## このリリースの最新情報

- [リリース 10.0.0-293 の新機能 \(2 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-291 の新機能 \(2 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-262 の新機能 \(2 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-252 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-233 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-203 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-190 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-138 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-114 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-092 の新機能 \(3 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-069 の新機能 \(4 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-060 の新機能 \(4 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-058 の新機能 \(4 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-003 の新機能 \(4 ページ\)](#)

### リリース 10.0.0-293 の新機能

WebSafe およびアドインでの SAML 2.0 および CRES メソッドの両方のサポート	<p>Cisco Secure Email Encryption Service では、管理者は WebSafe およびアドインの SAML 2.0 認証方式と CRES 認証方式の両方を有効にできるようになりました。</p> <p>両方の方式が設定されている場合、CRES を使用して初めてログインするユーザーは、正常にログインするために [ パスワードを忘れた場合 (Forgot Password) ] リンクを使用して新しいパスワードを生成する必要があります。</p>
--	--

### リリース 10.0.0-291 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-291 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

### リリース 10.0.0-262 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-262 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-252 の新機能

電子メール署名の設定のサポート	Cisco Secure Email Encryption Service に電子メール署名機能が含まれるようになり、メッセージの作成時に電子メールの下部に自動的に表示される個人向けの署名を作成できます。
-----------------	--

## リリース 10.0.0-233 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-233 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-203 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-203 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-190 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-190 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-138 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-138 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-114 の新機能

アカウント管理者がパスワードをリセットした場合のアカウント管理者および企業ユーザーのパスワード変更通知	アカウント管理者が別のアカウント管理者のパスワードを変更すると、影響を受ける管理者は、パスワードを変更した管理者を示す通知電子メールを受信します。 また、アカウント管理者がアカウント内のいずれかのユーザーのパスワードを変更すると、ユーザーはパスワードがアカウント管理者によって変更されたことを通知するメッセージを受信します。
システム管理者がパスワードをリセットした場合の非企業ユーザーに対するパスワードリセット通知	非企業ユーザーが、Secure Email Encryption Service のサポートに連絡してパスワードをリセットすると、サポートチームによってパスワードがリセットされたことを確認する電子メールが送信されます。

## リリース 10.0.0-092 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-092 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-069 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-069 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-060 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-060 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-058 の新機能

このリリースで追加された新機能はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-058 の修正済みの問題 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-003 の新機能

Cisco Secure Email Encryption Service インフラストラクチャが Amazon Web Services (AWS) に移行	Cisco Secure Email Encryption Service は Amazon Web Services (AWS) インフラストラクチャに移行中です。移行はシームレスに行われ、ユーザー側でのアクションは必要ありません。移行後も、Secure Email Encryption Service、Encryption Add-in、および Submission Add-in で作業を続行できます。ダウンタイムや中断は発生せず、ユーザーアカウントや設定を変更することなく、通常どおり Secure Email Encryption Service にアクセスできます。
---	--

## 動作における変更

- [リリース 10.0.0-293 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-291 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-262 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-252 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-233 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-203 での動作の変更 \(5 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-190 での動作の変更 \(6 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-138 での動作の変更 \(6 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-114 での動作の変更 \(6 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-092 での動作の変更 \(6 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-069 での動作の変更 \(6 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-060 での動作の変更 \(7 ページ\)](#)

- [リリース 10.0.0-058 での動作の変更 \(7 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-003 での動作の変更 \(7 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-293 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-293 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-291 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-291 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-262 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-262 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-252 での動作の変更

特長	説明
ログインページの [ 電子メールアドレスが一覧にありません (Email address not listed) ] オプション	このリリース以降、[ 電子メールアドレスが一覧にありません (Email address not listed) ] オプションは、ログインページに直接表示されます。受信者は手動で自分の電子メールアドレスを入力して、セキュアなメッセージを開封して読むことができます。

## リリース 10.0.0-233 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-233 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-203 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの既知および修正済みの問題のリストについては、次を参照してください。[リリース 10.0.0-203 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-190 での動作の変更

特長	説明
アカウント管理者がセキュリティレベルを [ 高 (High) ] から [ 中 (Medium) ] または [ 低 (Low) ] に変更した場合のエンドユーザーに対するセキュリティレベル変更通知。	アカウント管理者は、エンドユーザーに電子メール通知を送信し、エンドユーザーに対して設定を更新して既存のセキュリティレベルの設定を更新し、新しい変更を反映させるように依頼します。

## リリース 10.0.0-138 での動作の変更

特長	説明
非企業ユーザーに対する Secure Compose の制限の変更。	<p>非企業の電子メールアドレスを使用してログインしている場合は、gmail.com、yahoo.com、aol.com などの一部のパブリックドメインを除き、企業と非企業の受信者の両方にセキュアなメッセージを送信できます。</p> <p>詳細については、  <a href="https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/email-encryption/222286-understand-cres-secure-compose-restrict.html">https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/em              ail-encryption/222286-understand-cres-secure-compose-              restrict.html</a> を参照してください。</p>

## リリース 10.0.0-114 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-114 の既知の問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-092 での動作の変更

特長	説明
WebSafe を使用した Secure Compose の制限。	<p>非企業の電子メールアドレスは、他の非企業のアカウントにセキュアメッセージを送信または転送することはできません。</p> <p>詳細については、  <a href="https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/email-encryption/222286-understand-cres-secure-compose-restrict.html">https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/em              ail-encryption/222286-understand-cres-secure-compose-              restrict.html</a> を参照してください。</p>

## リリース 10.0.0-069 での動作の変更

- このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-069 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-060 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-060 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-058 での動作の変更

このリリースでは動作の変更はありません。このリリースの修正済みの問題のリストについては、[リリース 10.0.0-058 の修正済みの問題 \(10 ページ\)](#) を参照してください。

## リリース 10.0.0-003 での動作の変更

特長	説明
メッセージの保存用の Microsoft OneDrive の削除	このリリース以降、セキュアなメッセージの保存に利用できるのは AWS 上の Cisco Storage のみです。Microsoft OneDrive のサポートは利用できません。
キーの保持期間を最長 5 年間に設定	管理者は、暗号化キーを保存する期間を設定できるようになりました。デフォルトでは、キーは 1 年間保存されます。キーの保持期間は最長 5 年間に設定することができます。  暗号化キーの有効期限が切れている場合、エンドユーザーはセキュアメッセージを開くことはできません。
[ メッセージの読み取り (Read Message) ] リンクの有効期間の設定	管理者は、セキュアメッセージの [ メッセージを読む (Read Message) ] リンクの最大保存期間を 30 日間に設定できます。
WebSafe から送信されたセキュアメッセージは転送できません。	セキュアメッセージが WebSafe から送信された場合、受信者はそれを他のユーザーに転送することはできません。メッセージの転送機能は、元のメッセージが WebSafe から送信されている場合は使用できません。

## サポートされるオペレーティングシステムと認証局

このリリースでサポートされるオペレーティングシステムと認証局の詳細については、『[Compatibility Matrix for Cisco Secure Email Encryption Service](#)』を参照してください。

## 既知および修正済みの問題

- [リリース 10.0.0-293 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-291 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-262 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-252 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-233 の既知および修正済みの問題 \(8 ページ\)](#)



- [リリース 10.0.0-203 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-190 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-138 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-114 の既知の問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-092 の既知および修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-069 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-060 の修正済みの問題 \(9 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-058 の修正済みの問題 \(10 ページ\)](#)
- [リリース 10.0.0-058 の既知の問題 \(10 ページ\)](#)

## リリース 10.0.0-293 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	このリリースでは、修正された問題はありません。

## リリース 10.0.0-291 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	CSCwq66677 : CRES からの TLS 配信が一部の証明書の検証に失敗し、遅延が発生する場合がある

## リリース 10.0.0-262 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	CSCwq15434 : 「CRES WebSafe」で作成された電子メールが、From ヘッダーのフォーマットが原因で疑わしい電子メールまたは迷惑メールとして扱われることがある

## リリース 10.0.0-252 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	このリリースでは、修正された問題はありません。

## リリース 10.0.0-233 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	CSCwj88837 : WebSafe で作成されたセキュアな電子メールが、Windows 上の Microsoft Outlook で誤ってレンダリングされる。



## リリース 10.0.0-203 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	CSCwn80716：表示名の特殊文字により CRES を使用して電子メールアドレスが分割される。

## リリース 10.0.0-190 の既知および修正済みの問題

既知の問題	CSCwn91656：英語以外のロケールの WebSafe でメッセージの期限切れが失敗する。
修正済みの問題	CSCwj69455：外部ユーザー向けのバウンス電子メールが、実際の送信者ではなく res.cisco.com に送信される。

## リリース 10.0.0-138 の既知および修正済みの問題

既知の問題	このリリースでは既知の問題はありません。
修正済みの問題	CSCwm97862：管理者がブロックした場合、または誤ったパスワードを 5 回指定した場合、ユーザーは自分自身をブロック解除できない。

## リリース 10.0.0-114 の既知の問題

- CSCwm85145: ユーザーステータスが [ ブロック済み (Blocked) ]/[ ロック済み (Locked) ]/[ 一時停止 (Suspended) ] に変更されると、パスワードのリセット通知が送信される
- CSCwm77343: Secure Forward は、受信者がいなくても成功メッセージを表示する。

## リリース 10.0.0-092 の既知および修正済みの問題

- このリリースでは、既知および修正済みの問題はありません。

## リリース 10.0.0-069 の修正済みの問題

- CSCwk62092: リンクのグレー表示 (アクティブ化およびパスワードリセット)
- CSCwm00383: セキュアメッセージの電子メールに、一部の Web クライアントで表示される際に、非表示の [ メッセージを読む (Read Message) ] リンクが含まれる。

## リリース 10.0.0-060 の修正済みの問題

- CSCwj69455: 外部ユーザー向けのバウンス電子メールが、実際の送信者ではなく res.cisco.com に送信される。

## リリース 10.0.0-058 の修正済みの問題

- CSCwh56746：言語の変更オプションがカスタマーサポートページに適用されない。  
カスタマーサポートページ <https://res.cisco.com/websafe/help?topic=ContactSupport> に言語が正しく表示されるようになりました。

## リリース 10.0.0-058 の既知の問題

- このリリースでは既知の問題はありません。

## 関連資料

マニュアル	参照先
アカウント管理者ガイド	<a href="https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-encryption/products-user-guide-list.html">https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-encryption/products-user-guide-list.html</a>
受信者ユーザーガイド	
互換性マトリクス	
オープン ソースのドキュメント：	<a href="https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-encryption/products-release-notes-list.html">https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/email-encryption/products-release-notes-list.html</a>
リリースノート	

# サービスとサポート

サポートケースを解決するには、次の手順を使用します

---

**ステップ 1** 「Frequently Asked Questions」 Web ページの利用：登録とセキュアメッセージのオープンに関するほとんどの問題は、質問が Web ページ <http://res.cisco.com/websafe/help?topic=FAQ> で回答されているかどうかを確認することですばやく解決できます。

**ステップ 2** [Chat Online] アイコンをクリックすると、1 日 24 時間、週 7 日いつでも、ライブ エージェントと会話することでサポートを受けることができます。Web チャットは <https://res.cisco.com/websafe/help?topic=ContactSupport> からご利用いただけます。



---

**コメント** 電子メールおよび Web チャットで現在使用できる言語は英語とフランス語です。フランス語のサポートは、平日の東部標準時間の午前 8 時から午後 5 時までご利用いただけます。

---

**ステップ 3** 電子メールによる Cisco Secure Email Encryption Service サポートへの連絡：FAQ ページで解決されない問題については、Cisco Secure Email Encryption Service サポート（[support@res.cisco.com](mailto:support@res.cisco.com)）に電子メールでご連絡ください。回答は、電子メールの送信後 24 時間（営業時間）以内に送信されます。

---

# マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート

マニュアルの入手方法、シスコのバグ検索ツール (BST) の使用方法、サービス リクエストの送信方法、詳細情報の収集方法については、<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html> で『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。

リーダー アプリケーションを使用して、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧をデスクトップに直接配信するには、[What's New] ページの RSS アイコンをクリックして、『What's New in Cisco Product Documentation』を RSS フィードとして購読してください。RSS フィードは無料のサービスです。

---

シスコおよびシスコのロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). 記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2025 Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.